

2025. 03. 24

サステナブル建築事例集ホームページの更新公開について ～ 24 年度事例 55 件中 40 件が ZEB / ZEH-M 各ランク認証取得～

(一社)日本建設業連合会（以下、日建連）は、2009 年度より、会員各社の設計施工によるサステナブル建築の事例集をとりまとめ、ホームページ内のサステナブル建築に関するコーナーで公開しています。このサステナブル建築事例集は今年で 16 年目を迎え、事例が 800（750）件を超えるまで充実してきました。このコーナーではサステナブル建築事例集のほか、サステナブル建築特別委員会報告書、サステナブル建築を実現するための設計指針、CASBEE 対応状況および省エネルギー計画書に関する調査報告書も公開しています。2024 年度の事例の一般公開は 3 月下旬の予定です。

1. 経緯

日建連は、旧 BCS（（社）建築業協会）時代の 1990 年より「建築業と地球環境」を重要な課題として位置づけ、各種の活動を行ってまいりました。2016 年には「環境自主行動計画」第 6 版を日建連として作成し、環境への取り組みの一層の強化を図るべく、業界目標を定め、その実施状況をフォローアップしております。また、日建連は 2012 年に日建連建築宣言「未来に引き継ぐ確かなものを」を公表しました。その中の 3 つの基本方針のひとつである「低炭素・循環型社会の構築に貢献します」では、建築のゼロエネルギー化を目指して「既存建築物を含めたライフサイクルエネルギーの低減」「計画段階からの耐久性と更新性を考慮した長寿命化」に取り組むことを謳っています。

この施策の一環として、会員各社の設計施工案件（新築、改修、保存等）のうち特にサステナブル建築に取組んだものを 2009 年度より事例集としてまとめ、インターネットで公開してきました。今年度も日建連の建築設計委員会カーボンニュートラル設計専門部会がその取りまとめを行い、2024 年度版として 55（56）件を追加し 825（770）件となりました。

今年度は建物用途では事務所が 24（23）件と最も多く、次いで工場・物流施設の 10（9）件、集合住宅 9（9）件と続き、12 分類に渡る広範な事例が集まりました。（複合用途含む。）サステナブル建築としての選定の観点（カテゴリー*）としては、環境配慮技術 43（50）件、省エネ・省 CO2 技術 45（46）件、周辺・地域への配慮 36（37）件、建物基本性能確保 32 件といった点が多くなっています。案件の CASBEE 評価としては、S ランク 18（13）件、A ランク 21（29）件、B+ランク 5（5）件となっています。

また近年の建築分野での脱炭素への取組みを反映して、ZEB/ZEH に関しては記載されているだけでも 40（29）件が認証取得あるいは取得予定で、その内訳は ZEB 8（11）件、Nearly ZEB 0（3）件、ZEB Ready 21（9）件、ZEH-M 1 件（1）ZEH-M Ready 1（0）件、ZEH-M Oriented 6（2）件となっています。

2. サステナブル建築事例集について

○事例件数は累計 825（770）件、今年度は会員 16（17）社から 55（56）件の提供を新しく受けました。

○設計施工の事例をまとめ、最新の事例を多く紹介しています（施工中案件も含む）。

○事例シートには、

名称、建築概要、カテゴリー*、案件の説明、図面、写真、サステナブル建築としての特徴の説明
主要な採用技術**、CASBEE 評価結果、設計担当者名などが記載されており、案件ごとに A3 版 1 枚の事例シートにまとめています。

○検索は建物名称、所在地、プロジェクト種別、建物用途、カテゴリー、竣工年、会社名、主要な採用技術より選択可能でしたが、2016 年度の事例公開からは、任意のキーワード検索の機能を追加しユーザーがより利用しやすいシステムに改良しております。

○今年度の本事例集では下記のような取組みを有する事例が多く紹介されており、事業企画、設計、施工、研究開発、建物の運用・管理などに広く、深く関わっている当会会員各社の特色が打ち出されたものとなっています。これらのポイントは図・写真を交えてわかりやすく説明されており、大いに参考として頂けるものと考えております。

□公的な認証等の取得（ZEB 認証事例の増加）

- ・今年度 55(56)件中 ZEB/ZEH 認証取得は 40(29)件、そのうち物流施設は 8(8)件取得、住宅 ZEH-M は 8(9)件中 7(4)件で取得
- ・Well 認証 core(コア) ゴールド認証のオフィス施設の事例
- ・CASBEE ウェルネスオフィス S を取得した事務所やウェルビーイングな働き方提案の事例

大規模複合施設のサステナブル建築事例

- ・アップフロント CO2 削減量が 11,000 トンを超える延床面積 6 万 m²超の複合建築
- ・オフィス ホテル 小学校 バスターミナル 28 万 m²大規模複合施設 での ZEB Ready 事例
- ・16 万 m²超大規模施設でありながら CASBEE S ランク ZEB Ready を達成した複合建築
- ・熱源施設の集中化で年間 7,700 トンの CO2 削減、72 時間の非常用発電で BCP 配慮の街区建築

□歴史の継承・既存ストックの利活用

- ・20 階超高層での既存地下躯体再利用し CO2 削減した事例
- ・歴史的建造物の保存とこれからの新しいオフィスを目指した レトロフィット免震オフィス
- ・躯体と外装を残し、減築、木造を多用した、増築オフィスの事例
- ・曳き屋でビルの中に本堂を組み込んだ、社寺 ホテル 物販の複合施設
- ・建物運用時の CO2 排出実質ゼロを実現したフルリノベマンション
- ・中規模オフィスのリニューアル ZEB の好事例

□高い環境性能

- ・BEI 値が「マイナス」となる一次エネルギー消費量の削減と創エネを高度に両立した事例
- ・単体建築 ZEB と複数建物全体のネットワーク エネルギーゼロに挑戦する、研究/事務所建築事例
- ・立体的緑化計画や帰宅困難者受け入れを想定したこれからの都心型超高層大学建築事例

□地域に開かれたサステナブル施設

- ・文化子育て複合施設 地域に開かれた公共施設 BEI 値 0.57 の好スコア
- ・省エネと美観を兼ねそなえた京都のホテル＋コミュニティセンター

□木造木質化

- ・木質感あふれる、振動実験施設の事例
- ・賃貸集合住宅で最上階を木造化（木柱）した事例
- ・木造ハイブリッドで 470 m³も木材を利用した賃貸オフィスの事例
- ・国産木材を利用した ZEB Nealy の武道館

□設備・エネルギー関連

- ・ネットワークによる水槽熱回収、飼育水カスケード利用等で水利用削減した水族館の事例
- ・スマートシティ実現へ水素・無人バス・ロボティクス・街区全体のエネルギー有効活用の事例
- ・VAV システムに代わる新空調システムの実装。地域冷暖房と CGS 併用による BCP 対応事例
- ・低層平屋の象徴的な多角形オフィス ZEB Nealy

* カテゴリーとは、サステナブル建築への取り組み方に関する分類である。

「環境配慮デザイン」「省エネ・省CO₂技術」「各種制度活用」「評価技術・フィードバック」「リニューアル」「長寿命化」「建物基本性能確保」「生産・施工との連携」「周辺・地域への配慮」「生物多様性」「その他」の11項目。

** 主要な採用技術とは、CASBEEの中項目にあわせた分類である。

「Q2.2 耐用性・信頼性」「Q2.3 対応性・更新性」「Q3.1 生物環境の保全と創出」「Q3.2 まちなみ・景観への配慮」「Q3.3 地域性・アメニティへの配慮」「LR1.1 建物外皮の熱負荷抑制」「LR1.2 自然エネルギー利用」「LR1.3 設備システムの高効率化」「LR1.4 効率的運用」「LR2.1 水資源保護」「LR2.2 非再生資源の使用量削減」「LR2.3 汚染物質含有材料の使用回避」「LR3.1 地球温暖化への配慮」「LR3.2 地域環境への配慮」「LR3.3 周辺環境への配慮」「Z その他」の16項目。

*** ()内数値は、同項目の昨年度数値を示す

以上

本件に関する問い合わせ先

(一社)日本建設業連合会 (担当：龍野)
電話 03-3551-1118 (建築・安全環境グループ)
東京都中央区八丁堀 2-5-1 東京建設会館